



豊中市議会議員



しら いわ しょう ぞう
白岩 正三

市政ニュース VOL.89

ー7月臨時議会で長内市政を問う！ー ～代表質疑・白岩担当5項目を報告～

7月臨時議会冒頭、長内市長による施政方針説明が行われ、今後4年間の市政の方向性が示されました。

また、80項目からなる基本政策も発表され、長内市長がめざす「ワンランク上のとよなか」の姿が明らかに。

これを受けて、市議会では各党派による代表質疑が行われました。

本号では、私が担当した党派質疑の5項目について、報告します。

【通告内容】

- 1) グローバル人材の育成
- 2) 図書館を核とした学びの
まちづくりとデジタル教育
- 3) 曽根駅周辺エリアのまちづくり
- 4) 地域コミュニティ政策
- 5) 音楽・文化芸術の振興

Q 中央図書館の開館時期をまずは明らかにすべき。豊島公園への中央図書館整備を契機に、老朽化したそね坂の再整備、駅から豊島公園へのアクセス改善やバリアフリー化、南改札の設置など駅機能の強化が必要ではないか。また、中央公民館や文化芸術センターなどの公共施設と、地域のまちづくり活動などと連携した一体的なまちづくりをどう進めるのか。

A 図書館の開館時期は、豊島公園再整備基本計画の策定過程で明らかに。曽根駅周辺については、次年度末に「まちづくり基本構想」をまとめる予定。そね坂の歩行空間の高質化や安全対策、駅からのアクセス向上など、鉄道事業者への働きかけなどを検討する。既存の公共施設と連携させ、多様な主体が関わる地域のにぎわいの核をめざす。

Q 「トップレベルの英語教育」で何をめざすのか。語学力だけでなく、多様な文化や価値観を理解し、他者と協働できる力をどう育てるのか。AETの全校常駐を授業だけでなく、休み時間や給食時間など日常的な交流につなげ、さらに国際交流センターや姉妹都市サンマテオ市との交流など、学校から地域・世界へと学びを広げていくことが重要ではないか。

A 英語をコミュニケーションのツールの一つと位置づけ、異なる言語や文化への理解を深め、多様な価値観を尊重し協働する力の育成をめざす。AETを全校に常駐配置し、学校教育活動全体を通じて日常的な会話の機会を増やす。また、国際交流センターでの多文化交流やサンマテオ市との交流についても継続して取り組む。

Q 地域活動を支える担い手の不足や負担の増加など、地域コミュニティを取り巻く環境は大きく変化している。限られた人材や財源を活動の目的や成果に応じて重点化するとともに、現在の働き方や生活スタイルに合った活動・組織へと見直す必要があるのではないか。また、社会教育による学びを地域での活動、さらに新たな担い手へとつなげる循環をどうつくっていくのか。

A 地域活動の負担感や担い手確保の難しさは認識しており、活動や組織のあり方の見直しは喫緊の課題である。地域自治組織の支援を進めるとともに、限られた資源の重点化や、子育て世代・働く世代も参加しやすい環境づくりに取り組む。図書館や公民館等の社会教育を通じて、学びから活動、担い手へとつながる循環をつくっていく。

Q 図書館は「コスト」ではなく「投資」である。歩いて行けるとところに図書・学びの空間を広げる一方、交流・語らいの場と静かに読書・学習する場の棲み分け、施設に応じた選書や書架更新も必要ではないか。また、AI・デジタル教育が進む中、紙とデジタルのバランス、AIを活用する力とAIに依存せず自ら考える力、子どもの健康への影響をどう考えるのか。

A 図書館には、学び・居場所・交流の場としても大きな期待がある。施設の特性に応じて交流と学びの空間を適切に区分し、選書や資料の更新・充実にも取り組む。教育では紙とデジタルそれぞれの特性を生かし、AIを主体的かつ適切に活用する力を育成する。電子機器の長時間使用による視力や睡眠への影響にも、家庭と連携し対応する。

Q 文化芸術センターを核に、曽根駅前広場や豊島公園、周辺の飲食店なども含め、まち全体で音楽や文化芸術を楽しめる環境をつくれぬか。また、日本センチュリー交響楽団という文化資源を生かしたクラシック音楽に加え、演劇、ミュージカル、ダンスなど幅広い舞台芸術に触れる機会を充実させ、大阪音楽大学をはじめとする地域資源をさらに生かすべきではないか。

A 文化・健康ゾーンとして魅力あるエリアとなるよう、文化芸術センターを中心に、周辺公共施設をハード・ソフトの両面でつなぎ、住民や事業者なども巻き込んだエリアマネジメントを進める。大阪音楽大学との連携によるミュージカルワークショップなど、多様な文化資源を生かし、幅広い文化芸術に触れる機会の充実に取り組む。

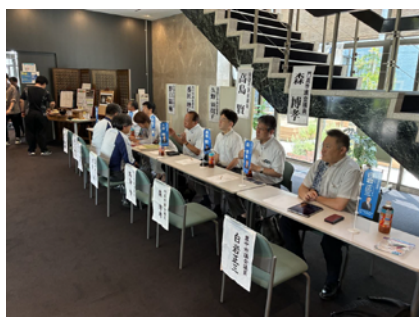
現場へ、皆さんのもとへ

～最近のアルバムから～

今年もアクアユートピア主催の千里川清掃活動に、豊中市民懇話会の皆さんと参加。水質も改善し、少しずつゴミも減ってるように感じますが、相変わらず目立つのが空き缶とタバコ。地元の皆さんの地道な活動が、千里川の自然環境を未来につなぎ、こどもたちの遊び場を育んでいます。



電機連合大阪地協の組織内議員団の皆さんと出前相談会。定期的な各拠点をまわり、暮らしの相談を伺っています。私自身は対話による政治に力を入れており、何人か集まっていれば、事業所や労働組合などへ出前懇談や出前相談に赴きますので、ぜひお気軽にお声がけください！



夏まつりシーズン、今年も各地におじゃましました。写真は地元・豊島北校区の納涼祭。市長もちょうど来場され、皆さんと記念撮影。こどもたちの笑顔が広がる地域のお祭り開催も、汗をかいて支えてくださる皆さんのおかげです。その支援のあり方についても、議会ですっかり議論しています。



皆さんの声を聴かせてください！ ～座談会を毎月開催～

いつでも会いに行ける。いつでも話を聞いてくれる。そんな議員であり続けたいとの思いから、毎月2回「まちづくり座談会」を継続開催。冒頭15分で市政や議会報告をさせていただいた後は、懇談の時間。あんなこと聞きたかった、こんなこと伝えなかったの声をしっかりと受け止めて政策へとつなげています。予約不要。お一人でも、お子様連れでも大歓迎。ご都合にあわせてご参加ください！

第125回

8月27日(木)

21:00～22:00
オンライン(ZOOM)



ミーティングID: 842 7147 4926
パスコード : 528537

第126回

9月3日(木)

18:30～19:30
豊中市立蛍池公民館 5F 会議室
豊中市蛍池中町3-2-1 (蛍池駅西側 ルシオーレ内)

第127回

9月28日(月)

21:00～22:00
オンライン(ZOOM)



ミーティングID: 897 1389 8294
パスコード : 081104

座談会のスケジュールは
公式LINEで発信
まずは、お友達登録を！



白岩 正三 プロフィール

1975(昭和50)年生まれ
大阪府交野市出身 50歳

本気に地道に！

- 府立千里高校／関西学院大学総合政策学部卒
- エディンバラ大学大学院 アフリカ学修士
- 松下政経塾出身
- 元 関西学院大学・大阪成蹊大学 非常勤講師
- 豊中市議会議員(4期目)
- 国民民主党大阪府連 幹事長



皆さんとともに ～地域活動・市民活動～

- 原田公民分館・原田校区福祉委員会 顧問
- 豊島北校区 航空機公害対策連合会 副会長
- 曾根まちづくり研究会 書記
- 曾根サマーフェスティバル実行委員
- ゆめのきフェスタ実行委員
- NPO法人 とよなか おきなわ 応援団
- 関西学院同窓会 北摂支部 副支部長
- 豊中市民懇話会 顧問



〒561-0802 豊中市曾根東町3-5-3-703号
TEL:06-4865-5550 / FAX:06-4865-5575
✉ info@shiraiwa-net.com

●LINEによる市民相談
●座談会等の日程のご案内
●市政ニュース最新版
などの情報をお届けしています。



公式 SNS